

2014-15 年度 R I のテーマ「ロータリーに輝きを」  
R I 会長 ゲイリー・C. K. ホアン (Light Up Rotary)

## 八戸南ロータリークラブ会報



●ガバナー 工藤 武重 ●会長 榎 清蔵 ●幹事 伊藤 斉 ●コミュニケーション委員長 米内 安芸

ホームページ : <http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/>

Email : [hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp](mailto:hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp)

RI 第 2830 地区ホームページ : <http://www.rotary-aomori.org/2014/>

### 第 1894 回例会記録《ゲストスピーチ例会》

2014 年 8 月 7 日 (木) 点鐘 12 : 30

レポート No. 1327

### 第 1894 回例会要旨

- ・会長要件
- ・幹事報告
- ・各委員会報告  
《出席・親睦・社会奉仕》
- ・ゲストスピーチ



熊谷 S A A

### 《ゲスト》

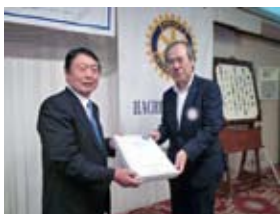
八戸市社会福祉協議会 浮木 隆 様

### 《会長要件》榎会長



8 月 1 日に長生園の方々、のぎく園の方々をお祭りに招待しました。暑い中お手伝いいただき本当にありがとうございました。雨が降って大変だったのですが、その時月光仮面のように颯爽と軽トラックが現れました。見ると、赤穂工務店と書いてあります、「雨が降ると大変なので、シートとロープを持ってきました」と赤穂さん、そこまで気が回らなかったのが本当にありがたい事でした。

### 《本人誕生日》



小原会員

### 《奥様誕生日》



原田会員

### 《幹事報告》伊藤幹事

・先程の定例理事役員会で 9 月のプログラムが決まりました。9 月 4 日 (木) ロータリー情報・退会防止委員会担当例会、9 月 11 日 (木) ガバナー公式訪問例会 (クラブ協議会)、9 月 18 日 (木) 青少年奉仕委員会担当例会、9 月 25 日 (木) 1900 回記念例会として夜例会 (例会変更) です。



・ガバナー補佐推薦のお願いが届いています、立候補しても良いという方がいらっしゃいましたら幹事までお知らせください。

### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



吉田 職業奉仕委員長

### 《出席報告》田守副委員長

正会員数 42 名。本日の出席は免除会員 4 名を含む 23 名。出席率 62% です。前々会の例会は、合同例会でした。



- ・村上会員より出席免除会員願いが提出され承認しました。
- ・青森の代表として光星高校が甲子園に出場します。寄付を募りますのでよろしくお願いします。
- ・レターボックスにロータリーの友 8 月号と合同名簿が入っています。インターアクト年次大会のお礼状と長生園便りが届いています。

### 《ニコニコボックス》平光委員長

榎会長：浮木様、今日はよろしくお願いします。

伊藤幹事：合同例会、納涼例会、三社大祭奉仕に出席して頂いた皆様、ありがとうございました。

黒田会員：三浦さん写真ありがとうございます。

長嶺会員：8 月 1 日長生園、のぎく園を招待しての三社大祭に多くの会員、奥様にお手伝いいただき、ありがとうございました。

鈴木会員：三社大祭ご苦勞様でした。本日早退失礼します。

平光会員：納涼例会、三社大祭おつかれさまでした。三川さん、本ありがとうございました。

本人誕生日：小原会員

奥様誕生日：原田会員



### 《社会奉仕委員会》長嶺委員長



8 月 1 日長生園と、のぎく園の方を三社大祭にご招待しました。多くの会員、奥様に手伝っていただき無事終了することが出来ました。デーリー東北には 8 月 3 日に記事が載っていますのでご一読下さい。ありがとうございました。

# 《ゲスト紹介》 榎会長

今日は第一回として奉仕について学んでいきたいと思ひ、同じ奉仕団体である八戸市社会福祉協議会の事務局長の浮木隆様をお招きして、特に三年前の大震災の時の奉仕についてお話して頂きます。資料にもありますが、八戸市災害ボランティアセンターの副本部長を務め、その後岩手県の野田村、陸前高田市の災害ボランティアコーディネーターとして派

遣されてご活躍されております。その活動を学び、奉仕について私達のこれこれからの参考にしたいと思ひます。浮木様よろしくお願い致します。

# 《ゲストスピーチ》 浮木 隆様

浮木様より資料に沿って、奉仕についてお話して頂いた。浮木様どうもありがとうございました。



八戸南ロータリークラブ例会  
2014-08-07

## 八戸市社会福祉協議会とボランティア活動

八戸市社会福祉協議会 浮木 隆

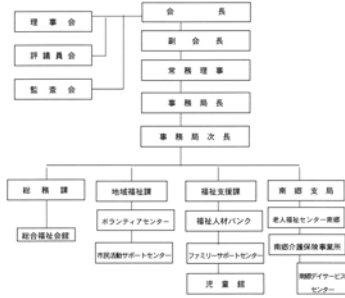
### I 八戸市社会福祉協議会について

- 1 設置根拠 社会福祉法 109 条 (市区町村社会福祉協議会)
- 2 設 立 昭和 26 年 6 月 13 日 (法人化: 昭和 41 年 8 月 27 日)
- 3 社会福祉協議会の基本的な性格  
「地域における住民組織と公的の社会福祉事業関係者等により構成され、住民主体の理念に基づき、地域の福祉課題に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現を目的とし、住民の福祉活動を組織化、社会福祉を目的とする事業の準備調整及び事業の企画・実施などを行う。市区町村、都道府県、国定都市、全国を結ぶ公共性と自主性を有する民間組織である。」
- 4 社会福祉協議会のしくみ (新・社会福祉協議会基本要綱)

5 社会福祉協議会の財源  
八戸市社会福祉協議会は、会費・寄付金・公的補助金・共同募金配分金などで運営されています。

平成 26 年度予算 一般会計 419,682,000 円  
(施設整備等収入含まず)

### 6 八戸市社会福祉協議会の組織



### II ボランティア活動について

#### 1 ボランティア活動者

#### 2 ボランティア活動の成り

戦後から  
1960 年ころ 高度経済成長  
1965 年ころ 在宅福祉への関心  
1980 年ころ 住民参加型  
1990 年ころ ボランティアへの関心増  
1995 年 ボランティア元年  
1998 年 NPO 法  
2001 年 国際ボランティア年

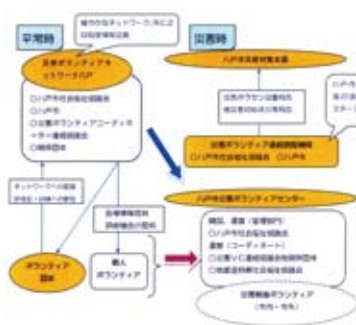
#### 3 ボランティア活動とは?

- ① 自分の考えに基づいて (自主性・主体性)
- ② 虚性で出合い (連帯性)
- ③ お互いの喜びのために (無償性)
- ④ 暮らしのしくみを創りだしていく (社会性・先駆性・開拓性)

### III 非常災害時に備える取組

- 1 災害ボランティアコーディネーター研修会への参加  
平成 13 年度から職員を研修会へ派遣
- 2 防災訓練における災害ボランティアセンターの発災訓練  
平成 16 年 青森県総合防災訓練 (I/P 市) 参加  
平成 17 年 八戸市総合防災訓練 参加 (以後毎年参加)  
※平成 22 年度: 市川地区
- 3 災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催  
平成 13 年 青森県・青森県社会福祉協議会の共催 (現在も継続) で「災害ボランティアコーディネーター研修会」がスタート。  
平成 15 年 研修終了者からネットワークの声が上がります。  
平成 16 年 組織化準備  
平成 17 年 災害ボランティアコーディネーター連絡協議会組織化
- 4 I/P 市と災害ボランティアセンター連携に関する取組  
大規模災害時に迅速かつスムーズに災害ボランティアを受け入れ、効果的に援護・復興支援活動が行われるよう、平成 22 年 6 月 29 日に、災害ボランティアセンターの設置・運営について、I/P 市と社会福祉協議会が「災害時に備えるボランティア活動等に関する協定」を締結し、大規模災害等に備えている。  
参考: I/P 市庁関係部署  
総合政策課 → 市民連携推進課 (ボランティア担当)  
防災安全部 → 防災危機管理課 (防災担当)  
福祉部 (福祉事務所) → 福祉政策課 (社協担当)
- 5 災害ボランティアネットワークの形成  
災害時にボランティアセンターの運営に協力する団体間の平時からの「顔の見える関係づくり」及びネットワーク化を図るため、平成 22 年 8 月 11 日に「災害ボランティアネットワーク」発足。

### IV 災害ボランティアネットワークの取組



No.	取組内容	実施時期
1	地域ボランティアネットワーク (I/P 市)	平成 22 年
2	I/P 市と市民活動推進委員会	平成 22 年
3	I/P 市と市民活動推進委員会	平成 22 年
4	I/P 市と市民活動推進委員会	平成 22 年
5	I/P 市と市民活動推進委員会	平成 22 年

### IV 東日本大震災に備える八戸市災害ボランティアセンター



### ボランティアニーズ・ボランティア活動数

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計
516人	318人	175人	105人	76人	52人	5人人	15人	1,262人

※10代のうち 18歳以下は 445人

活動内容	派遣先と派遣人数
被災者支援	市川地区 1,242人 白 旗 地区 161人 江 崎 地区 128人
被災者からの声出し	奥 地 区 200人 船 岸 地区 131人 小 中 野 地区 62人
ゴミ出し作業	南 地 区 90人 河 原 木 地区 13人 横 城 地区 3人
家具の運び出し	南 地 区 30人
引越の手伝い	計 2,069人
避難所支援	市内避難所 (6ヶ所) 58人 (5日間)
避難所の清掃	長根体育館 108人 (7日間)
救護物資の運び出し	総合福祉会館 115人 (10日間)
ボランティア派遣補助	衛生社、送り出し班
清掃活動	鶴島、北地区滝沢緑地 51人 (1日)

浮 木 隆  
昭和 56 年 3 月東北福祉大学社会福祉学部社会福祉学卒業  
昭和 59 年 6 月社会福祉法人 I/P 市社会福祉協議会に採用  
平成 13 年 4 月加味福祉協議会、平成 19 年 4 月事務局次長兼福祉課長、平成 20 年 4 月事務局次長、平成 23 年 4 月事務局次長  
※平成 23 年の東日本大震災において、I/P 市災害ボランティアセンター副本部長を務める。  
※平成 23 年の東日本大震災において、岩手県野田村、陸前高田市に災害ボランティアコーディネーターとして派遣される。